[履歴書](#履歴書)

・過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲　　戒処分等を受けた場合には、賞罰欄若しくは備考欄に処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入してください。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。

業績目録

[１．原著論文](#原著論文)

・査読制度のあるもの

・その他の学術論文

[２．著書及び訳書](#著書等)

[３．報告書](#報告書)

[４．総説・資料・書評](#総説・資料･書評)

[５．普及・実用記事](#普及・実用記事)

[６．学会・研究会・講演会・シンポジウム・セミナー等](#学会等)

[７．計画・設計](#計画・設計)

[８．特　許](#特許)

[９．資格・技術](#資格・技術)

10．[教育業績](#教育業績書)

11．特記事項（必要に応じて書式を変更して使用ください。）

●作成上の注意

注１）本人の氏名に下線を付けてください。

注２）本人がコレスポンディング・オーサーの場合は名前の右肩にアスタリスク（＊）を付けてください。

注３）業績全体の中から主要業績１０件以内を○印で番号を囲んでください。

注４）研究業績目録、教育業績調書については年度が新しいものから記載するようにしてください。

注５）可能な範囲でDOIやURLなどを記入してください。

履 歴 書

|  |
| --- |
| 年　　　月　　　日　現在縦3.5～4.0cm×横3.0～3.5cm画像ファイル可　　　 |
| ふりがな氏　名 |  |  | □男□女 | 国籍（日本以外の場合） |
| ローマ字（姓，名） |  |
| 生 年 月 日（年齢） | 西暦　　　　年　　月　　日生　（　 歳） | 学位　○○博士 |
| 所属機関名 | ○○大学大学院 | 連絡先住所 〒　　　自宅電話：携帯電話：E-mail ： |
| 部　署 | ○○研究科○学科 |
| 職　名 | ○○研究員 |

|  |
| --- |
| 学　　　　　　歴（高校以降） |
| 年昭和○ | 月3 | ○○県立○○高等学校卒業 |
| 昭和○ | 4 | ○○大学○○学部○○学科入学 |
| 平成○ | 3 | ○○大学○○学部○○学科卒業 |
| 平成○ | 4 | ○○大学大学院○○学研究科修士課程○○学専攻入学 |
| 平成○ | 3 | ○○大学大学院○○学研究科修士課程○○学専攻修了 |
| 平成○ | 4 | ○○大学大学院○○学研究科博士課程○○学専攻入学 |
| 平成○ | 3 | ○○大学大学院○○学研究科博士課程○○学専攻単位取得退学 |
| 平成○ | 4 | 文部省在外研究員｛○○大学（○○国）「\*\*\*研究」（○年○月まで） |
|  |  |  |
| 　　　　　　　　　　　　職　　　　　　歴 |
| 年平成○ | 月4 | ○○株式会社　入社 |
| 平成○ | 3 | ○○株式会社　退社 |
| 平成○ | 4 | ○○大学助手（○○学部）採用 |
| 平成○ | 4 | ○○大学助教授（○○学部）昇任 |
|  |  | 現在に至る |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 　　　　　　　　　　　　賞　　　　　　罰 |
| 年平成○平成○ | 月44 | ○○学会奨励賞\*\*\*に関する研究○○公園国際コンペ入賞 |
| 　　　　　　　　　　　　学　　　　　　位（取得大学・論文名） |
| 年平成○ | 月3 | 修士（○学）（○○大学）\*\*\*に関する研究 |
| 平成○  | 4 | 博士（○学）（○○大学）\*\*\*に関する研究 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | 氏　名　　 |
| 学会活動 |
| H○～現在　 ○○学会評議員 |
| H○～H○　 △△学会幹事 |
| H○～現在　 □□国□□学会会員 |
|  |
|  |
| 　 |
| 社会活動 |
| 　○○県における○○審議員（平成○年から現在に至る） |
|   |
|  |
| 資格，その他 |
| 　高等学校教諭　専修　免許状（農業） |
|  |
|  |
|  |
| 健康状態 |
| 良好 |
| 備考 |

業　績　目　録

１．原著論文（査読制度のあるもの）

|  |
| --- |
| 通し番号．執筆者名(発表年)，表題，掲載誌 巻次(号次)：ページなど |

１．

２．

１．原著論文（その他の学術論文）

|  |
| --- |
| 通し番号．執筆者名(発表年)，表題，掲載誌 巻次(号次)：ページなど |

１．

２．

３．

２．著書及び訳書

|  |
| --- |
| 通し番号．著者名[編集者,監修者] (発表年)，書名又は論文名，発行所など |

１．

２．

３．

３．報告書

|  |
| --- |
| 通し番号．著者名※(発表年)，報告書名，題名，頁，発行所など（※分担者を含む） |

１．

２．

３．

４．総説・資料・書評

|  |
| --- |
| 　　　通し番号．著者名※ (発表年)，題名，書名又は誌名、ページなど（※分担者を含む） |

１．

２．

３．

５．普及・実用記事

|  |
| --- |
| 通し番号．著者名※ (発表年)，題名，発表誌（巻・号・頁） など（※分担者を含む） |

１．

２．

３．

６．学会･研究会･講演会･シンポジウム・セミナー等

|  |
| --- |
| 通し番号．発表者名※ (発表年)，題名，学会名・年月日など（※分担者を含む） |

１．

２．

３．

７．計画・設計

|  |
| --- |
| 通し番号．計画・設計者名※ (発表年)，計画・設計作品名，発表誌（巻・号・頁），依頼先など（※分担者を含む） |

１．

２．

３．

８．特　許

|  |
| --- |
| 通し番号．氏名（発表年），名称，特許公報，発表誌（巻・号・頁）など |

１．

２．

３．

９．資格・技術

|  |
| --- |
| 通し番号．資格・技術の名称，内容等，年など |

１．

２．

３．

10.教育業績

|  |
| --- |
| 教　育　業　績　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名 |
| 教育上の能力に関する事項 | 年　月　日 | 概　　　　　要 |
| 教育方法の実践例1.植物分類学2.資源植物生産学実習3.普遍教育（一般教養）科目 | 平成○年4月～平成○年4月～ | 植物の学名・来歴などの実物を示しながら解説し、植物に対する理解を深めさせている。資源植物の生産に必要な基本的な栽培技術の指導を行なっている。 |
| 作成した教科書，教材4.資源植物生産学実習テキスト | 平成○年4月 | 資源植物の分類・形態から生産に必要な基礎的な内容を網羅したプリント(130ページ分)を作成し、学生に補助教材として配布している。 |
| その他　5.市民向け公開講座 | 平成○年○月 | ○○大学開講の野菜の栽培に関する講演と実習を行なった。 |

11.特記事項（必要に応じて書式を変更して使用ください。）

|  |
| --- |
| 社会貢献・国際・大学運営などの業績調書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名 |
| 社会貢献に関する事項 | 年　月　日 | 概　　　　　要 |
| （例えば、国、自治体における審議会、学協会等の活動、コーディネーター、アドバイザー等） | 平成○年4月～平成○年4月～ |  |
| 国際に関する事項 | 年　月　日 | 概　　　　　要 |
| （例えば、欧文誌の編集委員、国際会議運営委員、学生の海外への派遣、海外機関への短期滞在・訪問、当該年度の部局間協定締結、留学生のサポート、語学能力等） |  |  |
| 大学運営に関する事項 | 年　月　日 | 概　　　　　要 |
| 1.○○大学○○学部学生生活委員会委員2.○○大学学生生活委員会委員 | 平成○年○月～平成○年○月平成○年○月～平成○年○月 | 学内広報誌の編集を行なった。学生から学内寮の問題点や改修などの要望を聞き、生活環境の改善を要望した。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 　　科学研究費等の外部資金調達状況 | 年 |
| 1 | 平成○-○年度　科学研究費若手研究(C)「○○の解明」代表2,000,000円 | 2022 |
| 2 | 平成○-○年度　科学研究費基盤研究(B) 「○○に関する研究」分担（代表者：松戸一郎　4,000,000円 | 2019 |
| 3 | 平成○-○年度　奨学寄附金（○件）　5,000,000円 | 2005 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |